

銚子七中
学校だより

坂東太郎

令和元年5月7日
第 14 号

COUNT DOWN 開校まであと 695日

校長閑話

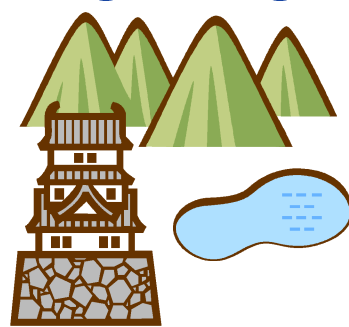
10連休も終わり、Back to School!

新学期が始まり、1か月が過ぎました。桜の花々もすっかりと散り、燕が巣作りのために忙しく飛び交う姿を確認すると、季節は確実に変わり始めていることを実感します。

長い10連休をどのように過ごされましたか？お子さんのご家庭での過ごし方はいかがでしたでしょうか？環境変化の著しい4月に蓄積された疲れを十分癒すことができたのとは裏腹に、やっと築き上げた生活リズムも連休を境にリセットされてしまう傾向にある生徒も多々います。3年生の修学旅行や16日に迫る1・2年生の校外学習への期待感や緊張感が、学校生活のリズムに弾みをつけるきっかけとなってくれることを願っておりますが、通常通りの学校生活が再び送れるように、全力できめ細かな指導をしてまいります。

さて、いよいよ明日から修学旅行です。行先は例年日光(栃木)・会津若松(福島)方面ですが、かつて本校では行先を岐阜の飛騨高山にしたこともありました。当時は高速道路も整備されてなく、到着までにバスで8時間程乗車していた記憶があります。また、体験活動では酪農作業をし、大きな牛に驚嘆し、恐る恐る近づき搾乳をする生徒の姿が大変印象的でした。宿泊先は大きな茅葺屋根の民宿で、囲炉裏を囲む夕食は生徒にとって貴重な体験だったようです。修学旅行の目的の一つに「様々な県外の地を訪れ、その地方の自然や歴史、文化などに触れることにより、広い視野と見識を深め、生涯学習の礎とする。」とあります。旅先での多くの発見は、きっと銚子の再発見につながることでしょう。当時の3年生が「飛騨高山に行ってから、古民家や銚子の酪農にも興味が湧くようになりました。」と言っていたことを思い出しました。ぜひ今回の修学旅行では銚子と結びつく何かを発見してもらいたいものです。修学旅行についての報告は次号に掲載します。

修学旅行

関東を飛び越え福島へ
～会津を知ろう 絆を深めよう～

4月を振り返って

気忙しく過ぎ去っていった4月。着任式、始業式に始まり、入学式、新入生歓迎会、内科検診、避難訓練、全国学力・学習状況調査、学年・部活動保護者会、PTA総会といくつもの行事の連続でした。生徒にとっては年度初めのいつものことと思っても、新たなチャレンジは心身ともに疲れるものです。5月病と言われるように、疲れが出るのもこの連休明けです。学校でも十分お子さんの健康観察・体調管理には気を付けていきますが、ご家庭でも体調不良を訴えるようでしたら、無理をさせずゆっくりとさせてあげてください。

さて、保護者の皆様方のご理解とご協力のもと、無事4月を乗り切れましたことに感謝申し上げます。特に、学年・部活動保護者会では多くの方々に出席をしていただき有難うございました。5月も大きな行事(衣替え、眼科・耳鼻科・歯科検診、2年生校外学習、1・2年家庭訪問、3年生修学旅行、生徒総会等)が盛り沢山です。それら詳細については学校からのお知らせや各学年からのおたよりをご参照ください。

また、不明な点等ありましたら、どうぞ遠慮なくご連絡ください。



インドはい〜んど！？ ⑧

ニューデリー日本人学校(平成7年4月～平成10年3月)に赴任していた当時にも修学旅行はありましたが、生徒数が少ないため小学校高学年との合同で行われました。国内移動に飛行機を使うこともありました。タージ・マハールへ行った時のことです。「君たちはずいぶん遠くまで修学旅行に来るのだね。」と問われた生徒は「はい、バスで3時間程度です。」と応えました。生徒の顔を不思議そうに眺める日本人観光客の表情が今でも忘れられません。

その時の生徒のお土産は勿論タージ・マハールの置物でした。

